

TOYBOOK

2005.6
vol.10

Hello!Project Fan Magazine

モー娘。7期メンバー
久住小春に寄せる期待

Hello!Projectに求めるモノ・・・
ハロー!とともに

ハロプロ楽曲を分析
恋のはじめから終わり

プロ野球セ・パ交流戦にみる
カラオケコンサートの是非

連載マンガ vol.10
コミックハロプロ

創刊10号迎えました!

久住小春に寄せる期待

文／徳兵衛

初めてお目にかかります。『徳兵衛』と申します。本年5月に卒業された石川梨華さんを一推しさせて頂いております。

私はファン歴の長さでもファンとしての中身の濃さ(?)でも他のファンの皆様方の足許にも及ばないかも知れませんが、そんな私の駄文にどうか最後までおつき合い頂ければ幸いです。

さて、先だつて実施された「モーニング娘。オーディション2005」で、新潟県出身の久住小春さん(12)が、応募総数2162人の中からただ1人「モーニング娘。7期メンバー」に選ばれました。おめでとうございます。

私は『ハロー!モーニング。』でオーディションの模様を逐一見てきましたが、4次審査への進出が決まった5名が紹介された時、そのうちの1人を見て「おっ!」と思つたのです。その子こそ実は久住さんだつたのですが、その時私が「おっ!」と思つた理由というのが、単に「可愛い」とか、そういうことではなかったのです。一言で言う、「娘。つばい」と感じたのです。

この「娘。つばい」

という表現は説明が難しいのですが、例えば：「モーニング娘。のメンバーみんなが持っているある種の雰囲気はこの子も持っている」とか、

あるいは「モーニング娘。の中にポイント入った時に、何の違和感も感じさせない雰囲気を持っている」とでも申しましょうか：それが「オーラ」

というものかも知れませんが、私は久住さんを見た時に、そういうものを感じて「娘。つばいなー」

と思つたんです。それ以来、私は「この久住さんという子



合格するといいなー」と思う様になりました。「合格するのではないか」とまでは予測出来ませんでした。「合格して欲しいなー」とは思っていました。

最終的につくくPは『Eース級』を飛び越えて『ミラクル級』という最大級の賛辞を与えて久住さんを合格としました。私は何となく「自分の目に狂いは無かった」という気持ちになって1人密かに喜んだものでした。もつとも合格者が1人だけだったというのはさすがに予想出来ませんでした。

さて、モーニング娘。ファンの中には、久住さんの年齢について「若過ぎる」「幼過ぎる」と懸念する声があるらしい…という話を耳にします。

久住さんは平成4年生まれの中1で、今年7月で13歳になります。つまりBerryz工房の徳永千奈美さん、須藤茉麻さん、夏焼雅さん、石村舞波さんと同学年で、同じくBerryz工房の清水佐紀さんや嗣永桃子さんよりも年下ということになります。

しかし、辻希美さん、加護亜依さん、新垣里沙さんがモーニング娘。に加入したのも、久住さんと同じ中1―12歳の時でした。Berryz工房のメンバーの年齢や、更にはファン自身の年齢(笑)と比較するから幼く感じてしまうだけのこと、ひとり久住さんだけがめっちゃくちゃ低年齢でモーニング娘。に加入した訳ではないのです。

もつとも、ミラクル級だからといって

すぐに栄光の日々が待ち受けているはずもありません。夏のツアーから正式合流するらしいので、それまでに何十曲という楽曲の歌やダンスをマスターしなくてはなりません。レッスンは半端じゃなく厳しいものになるでしょう。そんな時、くじけそうになる心を励まし合い、またライバルとして互いに高め合えるのが、同期メンバーの存在です。石川さんの卒業ライブの折に石川さんと吉澤ひとみさんが見せた「同期愛」には、他者が立ち入ることの出来ない深い絆を感じたものですが、そんな同期メンバーがいらない…というのは久住さんにとってはつらいことかも知れません。更には「ミラクル級」という評価がプレッシャーとなったりすることもあるかも知れません。

でも私は心配していません。何故なら、つくくPがこれまでにモーニング娘。のメンバーとして選んだ人の中で「モノにならなくてやめた」などという人は1人もいないからです。加入当初つくくPから「赤点」とか「モーニング娘。の山田花子」とか言われていた紺野あさ美さんだって、最初挨拶すらろくに出来ず「問題児」と言われていた6期メンバーだって、今や目覚しい成長を遂げ、かつ個性を發揮して、モーニング娘。に欠かすことの出来ない存在となつていてはいませんか。だから久住さんにだって出来ないはずはないと思うのです。

幸い、モーニング娘。には厳しくて優し

い先輩たちがたくさんいます。そういった先輩たちに支えられながら、厳しい試練に耐えて、いい娘。になつて欲しいと思います。

最後まで駄文におつき合い頂き厚く御礼申し上げます。



ハロー！とともに

文/Ga★tto

モーニング娘。、松浦亜弥、後藤真希、安倍なつみ、メロン記念日、Berryz工房——Hello! Projectのメンバーは、1997年のモーニング娘。結成以来増え続け、現在では46人（確かではないが、参考程度に）となっている。はじめは、いくつものアーティストの集合体でしかなかったが、年を重ねるにつれ、新たにユニットが結成されたり、グループから卒業し、ソロとして活動の場を広げる者が現れたり、Hello! Projectが提供する音楽の方向性はどんどん多様化してきた。そして、変化を遂げてきた。

ところが、我々ファンは、変わることもなく彼女たちのファンでい続けている。この変化を続けるグループに、我々ファンが変わらず求めているものとは、一体何なのだろうか。ある人にとっては音楽性であったり、またある人にとってはアイドル性であったりと、その答えは人によって、きつと異なるであろう。しかし、そのどれもが正解だ。なぜなら、Hello! Projectは1つのものを提供するのに、ファンに対していくつものアプローチをしていくからである。それは、衣装であったり、PVであったりするわけだが、プロデューサーのつんく♫氏が著書で述べているように、Hello! Projectの核は音楽である。（モーニング娘。×つんく♫より／ソニー・マガジンスズ発行）そのためか、筆者は落ち込んでいたり、辛いとき、そんな時に彼女たちの歌を聴いて元氣付けられることもしばしばである。

もちろん、そんな感じ方をしているだけではない。彼女たちが伝えようと表現しているもの、歌詞に込めたつんく♫氏の想いを感じ取って楽しんでいれる。同じ曲でも、それを聴く自分の状況によって違って聴こえることも、またおもしろい。

さて、私がこんなこと——我々ファンはHello! Projectに何を求めているのか——を考え出したきっかけは、先日モーニング娘。新メンバー加入である。ミラクル級と言われた久住小春さん。その実力はつんく♫氏が太鼓判を押し、既にファンサイトができていたという人気である。この状況は、モーニング娘。に限って言えば、何も物珍しいものではないだろう。過去多くのメンバーがモーニング娘。に加入するたびに見られた光景であろう。（筆者がファンサイト存在を知ったのが、6期メンバー加入後だったので、断定はできないが）しかし、私はそこに疑問を感じたのだ。新メンバーが加入した、その途端にファンが生まれる。もちろん、ファンになることが悪いとは言えない。だが、そのファンになった方々は、何に魅力を感じたのであろうか。今回の件では、「外見がモデルのようかわいい」「純朴な印象」「80年代アイドルのような感じ」といった声が聞かれる。ところが、久住さんが「モーニング娘。」として歌った姿を、少なくとも筆者は、まだ目にすることがない。つまり、つんく♫氏が活動の中心として据えている「音楽」は、まだ世に出ていないのである。というこ

とは、現時点で彼女のファンになっている方々は、「久住小春」という「人物」に魅力を感じたのである。「久住小春」が作り出す「音楽」の魅力を感じる前に。もちろん、先に述べたように、Hello! Projectのアプローチは多面的なものであり、久住さん自身に魅力があることも確かである。まず久住さんのファンになつてもらい、その上で彼女の音楽を聴いてほしいという、つんく♫氏や事務所の思惑があるということも考えられる。また、そう考えているファンの方も多くいるであろう。

ここで、私は1つ提案をしたい。「久住小春」に魅力を感じ、ファンになるのは結構だが、久住小春のファンであつてはほしくないのだ。言い換えるのならば、ファンはテレビやラジオ・コンサートに出ている「久住小春」のファンであつて、プライベート、1人の人間としての久住小春のファンであつてはならないと思うのだ。筆者はこのことを前々から思つていたが、矢口さんの報道があつてから、より一層強く思うようになった。「矢口真里」——めまぐるしく変わり続けながらも、変わらない。それが矢口だ。好奇心のままに冒険を続ける勇敢さと、迷つて悩んで立ちすくんでしまう内気な不安。こんな両極がいつも、どこにもないバランスで揺れている。(モーニング娘。×つんく♫より引用/ソニー・マガジンズ発行)しかし、(プライベートでの)矢口真里は、一体どのような人物なのであるのか。それは、ファンである我々には誰

も分からない。いや、知るべきではないというのが私の提案である。

矢口さんや久住さんだけではなく、Hello! Project全体、ひいては芸能界に生きる人全ては、テレビやラジオなど、例えて言うのならば、「表」に出ている「自分の姿」で勝負しているのである。そして、その「自分」のファンがいてほしいと願うのである。その点で、ファンの方々には、Hello! Projectのメンバーが一人の人間であることを忘れないでほしい。彼女たちは「表」ではHello! Projectのメンバーとして活動をしているが、「裏」では恋もし、時には他人の悪口も言う。しかし、それは一人の人間として当然のことなのだ。ひよつとすると、「裏」の方がむしろ本音なのである。この文章を読んでいるあなたは、仕事帰りに同僚と居酒屋へ立ち寄り、酒を飲みながら上司の愚痴を言い合う、こんなことをしたことはないだろうか。(筆者は未成年なので、体験はないが)もちろん、その時には上司が聞いていないという前提で愚痴を言っているのであつて、むしろその上司には聞かれたくないと思つているし、その内容について(通常は)誰かに苦言を呈されることもない。しかし、矢口さんの件に関して言えば、某氏との交際を報じられ、メンバーとして7年間活動を続けてきたモーニング娘。を脱退にまで追い込まれている。さらに、その件自体について、一部ではあるが、ファンの中でも交際を非難する声がある。一人の女性の交際について

批判することも問題だと思つし、裏で起こつたことをとらえて暴露し、さらには本人の表の生活にまで影響を与える、これが一人前の人間のことであろうか。私は違ふと思う。

長々と意見を述べてきたが、最後に、私は声を大にして言いたい。Hello! Projectのメンバーは一人の人間であるのだ、と。

初めまして♪今回記事を書かせていただくのは、石村舞波ちゃんが大好きな未来です。小学生です。

私はハロプロが大好きです。ハロプロにはたくさん魅力がありますが、その一つに「歌」が挙げられます。

今回はハロプロの歌で恋のはじめから終わりまでを表してみたいと思います。(もちろん女の子目線ですよ！)

まずは彼氏がいない状態。「ぴったりたい!Xmas」は早く彼氏をつくってクリスマスをラブラブで過ごしたいという歌。なにげなく歩いている道も恋人と歩くと楽しいだろうなあと考える「スクランブル」など。

次は好きな人がいて片思い中。片思いの歌の定番といえば「桃色片思い」。本当に相手のことが頭から離れないという可愛い曲。それから「さくら満開」。一途に好きな人を感じる名曲です。

だんだんと好きな人と付き合える兆しが!デートの最後にメールで告白される「恋をしちゃいました!」、携帯の番号を渡された「ロマンティック浮かれモード」はミキティの曲の中でも人気が高いです。

恋をしている間の絶好調な時!!原宿で口づけを・・・「Do it! Now」、海でデート「幸せビーム」好き好きビーム」、可愛らしい「白く TOKYO」などたくさんあります。だんだんと恋の終わりを予感する歌「すぐ好きなのに:ね」は本当に切ない。もう終わり。夢ならいいのと思う「夢なら

ハロプロの楽曲と恋のはじめから終わり

文/未来

ば」やどこかに行ってしまうみたいと思えば「先輩〜LOVE AGAIN〜」など・・・恋が終わったあとも「おもいで」の海に

来てみたい・・・
というわけで最後は悲しい結末になってしまいましたがこのような感じですね。他にもハロプロの恋の歌には「ロボキッス」のようなおもしろい歌もあります。友情の歌もありますし、家族愛の歌もあります。

というわけで今回はハロプロの歌、歌詞に重点をおいた記事を書いてみました。ハロプロメンバーは現在、CMやドラマ、舞台やフットサルなど幅広い活躍をしています。が、本業は「歌手」。色々な活動をしながらも歌を大切に歌ってほしいと思います。



プロ野球交流戦とカラオケコンサートの是非

文／flight

みなさん、プロ野球に興味ありますか？
推し球団はどこですか？昨年ドタバタしたプロ野球も楽天の参入により、セ・パ六球団勢を維持し現在、ナントレースの真つ最中。今まで野球に全く興味がなかった方も、楽天の公式応援歌にモーニング娘。のT.H.Eマンパワーが起用されたことで、身近に感じるようになったことだと思いません。

その楽天はというと、みなさんご存じだ

と思いますが、長い日本プロ野球の歴史の中で、過去に類をみないほどの負けっぷり。勝率が2割。100敗ペース。予想していたとはいえ、実際にこれだけの敗戦を目の当たりにすると、さびしい気持ちになります。

そんな負けっぱなしの楽天の応援にモーニング娘。は4回かけつけています。本拠地開幕の3連戦と石川さん卒業翌日のジャイアンツとの交流戦。なんと4回のうち3回も勝っている。これは偶然でしょうか？偶然にしては確率がすごすぎる。勝率2割のチームが4回試合をして3回勝つ確率…。5面体のサイコロを4回ふって、数字の1が3回出る確率を考えると同じこと。計算すると…1/6/25。なっなんと、2.6%！これを偶然という言葉で片づけるわけにはいかないでしょう。偶然にしては神がかり的な数字です。勝利の女神なんて言葉を使いたくないが、そう考えるのが一番しっくりくる。もしくは楽天選手の大半はモーヲタか(笑)。娘。の応援があれば頑

張れるし、頑張っちゃうのはモーヲタである証拠。でなければ勝率2割のチームが7割5分(4戦3勝)と、5割5分(55%)も勝率があがってしまうことの説明が出来ない。きっと、そうだ、そうに違いない(笑)。冗談で言っているつもりですが、冗談に聞こえないところがなんともいえないですね。ただこれが半分真実だったとして、娘。が応援にきているから少しハッスルしちゃったというのであれば、選手のプロ意識に疑問をもちます。プロとしての「意地」をみせてもらいませぬ。

さて、そんなこんなでモーヲタにも身近なものになったプロ野球。今年はプロ野球改革元年として、プロ野球を盛り上げるために新たなことを導入しました。それはセ・パ交流戦。オープン戦やオールスターではできない真剣勝負の場で、あの選手とあの選手の対決という、野球ファンにとつてはまさに夢であったものが実現されたのです。5月上旬から始まり、現在その真つ最中。盛り上がっているこの交流戦、ファ

ンの要望に応えるというのがそもそもスタートではなく、赤字経営に苦しむパリーグが、ドル箱の巨人戦を望んだという球団経営陣の意向によるものであるのは、周知の事実です。どんな理由で始まったにせよ、それで楽しく盛り上がりファンが喜んでいけるならそれでいい。いくつか問題点はあるとはいえ、交流戦はまずまずの成功といつてもよさそうです。

ここまで話をきて、何か思い当たる節がありませんか？「交流戦」「夢の共演」「経営陣の思惑」「今年スタート」：etc。どこかで耳にした、いや体験した出来事と酷似しているような気がしません？デジャブではないですよ。

そう、今年の冬のハロプロプロジェクトコンサートから始まった、俗に「カラオケコンサート」と揶揄されたコンサートを連想しませんか？自分の持ち歌を唄わず、メンバーをシャッフルし、「ハロプロコンサート」しか見ることができない夢の共演」とつんく♫氏がコメントした、あのカラオケコ



現在開催中のセ・パ交流戦はまずまずの成功

ンサートを連想しませんか？

昨年夏のハロプロコンサートでキッズ4人でのタンポポの乙女バスタに感動、それに続きW&Berryz工房のツアーでも、何曲か持ち歌でない楽曲をシャッフルされたメンバーで唄い、「実績を残す」という地均しをすませておいて、満を持して今年の冬ハロではほぼ全曲、メンバーをシャッフルしてカラオケにしてみました。プロ野球の交流戦と同様に、ある時期だけしかみれない夢の組み合わせであるには違いない。これがハロプロコンサートだけならよかったのですが、春になって、松浦亜弥キャプテン公演ハロパーティや美勇伝、Berryz工房のツアーも続いてしまった。秋には再びハロパーティツアーの開催が発表されるなど、ハロプロプロジェクトはこれからこのような方向性で行くようである。「楽しければいいじゃん」なのだが、果たして楽しめる内容なのだろうか？と考えると疑問が残る。

ここで話をプロ野球の交流戦に戻します。現在(5月末時点)、パリーグのハーラーダービートップのピッチャーは誰か知っていますか？西武の松阪でもなく、楽天の岩隈でもなく、首位ロッテを牽引するサブマリンの渡辺です。渡辺俊介というアンダーローのピッチャーを知っていますか？知っているようなファンは交流戦を十二分に楽しんでいるでしょう。でも知らない人

は試合を見ている、巨人の清原、高橋、上原を知っている、その対戦相手を知らないから面白さは半減です。ハロプロのコンサートでも同じことが言える。

ハロプロ全体のファンはいいが、例えば松浦亜弥さんしか知らない松浦さんファンがいたとして、自分の知らない楽曲を松浦さんが唄っているのを見て、楽しいには違いないが楽しさは半減だと思います。冬のハロプロコンサートは過去の誰もが知る名曲ばかりだったとはいえ、少し不親切なように感じます。松浦さんのファンは松浦さんの曲が好きで、その松浦さんを見に行っているわけですから、知らない曲を唄われても、少し戸惑っちゃいます。

ただ、短所もあれば長所もある。そのような松浦さんしか知らない人に、他のハロプロアーティストの楽曲を紹介するというメリットもある。交流戦でパリーグの個人的な選手を世間に紹介するというメリットと同じかな。なので一概に「いい」「わるい」とは言えない。

では別の視点で話をしよう。自分の思い入れのあるメンバーの、思い入れのある楽曲を、他のメンバーが唄うことをどう思いますか？コンサート中に後ろを向いたり、耳を閉じたりして、不快感を露骨に示す人がいる。ハロプロコンサートのセットリストに取り上げられることは、「いい曲」だと評価されていることと思うのだが、それを頭で理解できても心では納得できて

いないファンが多いのが現状である。気持ちちは理解できるが、その姿を見たステージ上のメンバーはどう思うのか、よく考えてもらいたい。これも一長一短です。

さて、現在ハロプロプロジェクトは総勢45名の大所帯。エッグも合わせると70名弱。今後ハロプロコンサートはもちろん、ハロプロコンサート以外にもミニハロプロコンサートのような合同コンサートにおいて、カラオケコンサートが催されていく可能性が高い。プロ野球のように期間限定の交流戦ならともかく、年がら年中カラオケコンサートを催されると、げんなりしてしまう。一年に一度のオールスター夢の共演だからこそ楽しめらなだと思っただが。

まもなく夏のハロプロコンサートがスタートするが、果たしてどのようなびっくり演出で僕らを楽しませてくれるのでしょうか？オーロラビジョンにつんく氏が映し

出され、「イエー！」なんて登場してくるようなびっくり演出はもとめていません。楽曲とダンス、トークで楽しませてくれるコンサートであつたらいいなあ。交流戦はいったん終了して、ペナントレースに戻ってくださることを強く希望します。



カラオケコンサートは今後のコンサートの基本形態になってしまうのか！？



☆記事募集のご案内☆

現在、「TOYBOX」では記事を書いてくれる方を募集しています。参加条件は無し、どなたでも歓迎いたします。

今回も引き続き編集部でテーマを設定いたしました。6月は辻希美さん、松浦亜弥さん、中澤裕子さんの誕生日。そして7月は道重さゆみさんが誕生日を迎えます。

そこで次号分のテーマは

・6月・7月生まれのメンバーついて

です。もちろん従来どおりで自分でテーマを設定して下さいでも結構です。文字数は1ページあたり約1000文字で、何ページでもOKです。画像の数・サイズによって変動しますのであくまでも目安としてお考え下さい。

文章は「TOYBOX」サイト内「mail」ページのフォームから投稿してください。また、縦書き・横書きの希望がございましたら併せてフォームへ記入して下さい。編集の都合上やむを得ない場合を除き、出来る限りの対応をいたします。

『TOYBOX』も今回で10号目を迎えることができました。だからといって特別企画等を用意してあるわけではありませんが(笑)。いつも記事を投稿して下さいの皆様、そしてお読み下さる皆様のおかげです。どうもありがとうございます。

さて、6月は辻希美さん、松浦亜弥さん、中澤裕子さんのお誕生日がやってきます。そして7月は道重さゆみさんのお誕生日です。この4人の単独記事って今まで掲載していないので、皆様からの投稿をお待ちしております!!

執筆者紹介

徳兵衛	石川梨華推し
Ga★tto	ハロプロ推し・・・なんでしょうね、きっと(笑)
未来	石村舞波推し
flight	亀井絵里推し。『えりりんどっとこむ』を運営中。今回の表紙デザインも担当
カゴカゴ	加護亜依推し。『comicKAGO』を運営中。マンガ担当
ハイマン・ロス	辻希美推し。『ののすいと』を運営中。デザイン担当